

20 浅建第 229 号

平成 20 年 10 月 14 日

国土交通省道路局長 様

福島県石川郡浅川町長 須 藤 一 夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号により依頼ありましたことについて、別紙のとおり提出しますのでよろしくお取り計らい願います。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福島県浅川町

- ① 道路特定財源の一般財源化にすることは制度上すべきではなく、逆に大幅な道路財源の確保を図り地方道路の確実な整備を促進するとともに、学童通学路の歩道の整備及び右折レーン等の整備を進め交通渋滞の緩和を図ること。
- ② 地方道路の格差の解消を図り土木建設業の経営の安定と就業者の確保に努めること。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１ 地域の現状と抱える課題

福島県浅川町

○現状

本町においては、道路整備計画に基づき、関係機関と連携しながら道路網の整備を計画的に進めていますが、交通量の増加や車輛等の大型化、更には高齢化が進む中、一層安全で便利な道路網・道路環境の整備が求められています。

○課題

国道１１８号沿線の死亡事故多発箇所の道路改良と通学路の狭隘歩道の整備、更には県道から国道へのアクセス道路の渋滞解消を進めていく必要があります。

②－２ 地域の目指すべき将来像

福島県浅川町

◎安全でうるおいのある道づくりを目標として推進します。推進にあたっての主要施策については次のとおりです。

１．国・県道の整備促進

国道１１８号及び主要地方道、県道の未改良箇所と歩道等の整備、県道浅川駅停車場線の全線開通を関係機関に積極的に要請していきます。

２．町道の整備

安全性の向上等に配慮しながら、歩道等の整備を行うとともに、維持・補修等を計画的に推進します。身近な生活道路についても、町民と協働のもと、維持・補修等を進めます。

３．安全でうるおいのある道づくりの推進

道路の整備にあたっては、災害時への対応やバリアフリー化、環境・景観に配慮した安全でうるおいのある道づくりを進めます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福島県浅川町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上 ・ 都市交通の快適性、利便性の向上 ・ 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 ・ 少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	①あぶくま高原道路の早期整備促進 ②ＪＲ水郡線浅川駅から国道１１８号バイパスへの接続 右折レーンの設置 国道１１８号危険箇所の改良 歩道の整備と改良	開通によって広域的な雇用の創出、物流の効果と地域全体の経済の活性化と振興が期待できる。 中心市街地へのアクセスが容易になり商店街の活性化につながる。 県道から国道へのアクセス道路の渋滞緩和と交通事故防止 交通事故防止の抑制 児童が安心して通うことができる通学路の確保	日常的に交通事故発生している危険箇所の改良整備にあっては、何年も何年も同じ要望を願いつつも、全く予算措置が付かない事が残念です。大都市と地方の格差が余りにも明確であり耐えがたき問題です。